

目次

I 沿革	2
II 展覧会	
II-1 開館日数・入館者数	3
II-2 展覧会記録	4
II-3 これまでの展覧会一覧	15
III 教育普及	
III-1 講演会・ギャラリートーク等	20
III-2 団体来館者への協力	20
IV 刊行物	21
V 収集	
V-1 新収蔵資料	22
V-2 新収蔵図書	23
VI 城西国際大学水田美術館概要	
VI-1 組織図	24
VI-2 施設	24
VI-3 利用案内	24

I 沿革

1905年（明治38）	4月13日、水田三喜男、千葉県安房郡曾呂村に生れる。
1928年（昭和3）頃	京都帝国大学在学中、浮世絵に関心を持つ。 戦前、浮世絵を数点購入するが、戦災で失う。
1946年（昭和21）	第22回衆議院選挙で自由党から出馬、初当選。 戦後、ふたたび浮世絵収集を始める。
1960年（昭和35）	第1次池田内閣、大蔵大臣。以後7回、12年にわたり大蔵大臣を務める。
1963年（昭和38）	「水田コレクション特集」（『季刊浮世絵』第6冊特別増刊号、緑園書房）。
1965年（昭和40）	学校法人城西大学を設立、城西大学（埼玉県坂戸市）開学、初代理事長兼学長となる。
1973年（昭和48）	中国葛飾北斎展開催、日中文化交流使節団長として訪中。
1976年（昭和51）	12月22日、病気にて急逝、享年71。 学校法人城西大学に「水田コレクション」寄贈される。
1979年（昭和54）	城西大学に水田美術館開館。
1992年（平成4）	城西国際大学（千葉県東金市）開学。
1998年（平成10）	城西国際大学本部棟3階にギャラリー開設、春秋の「水田コレクション」特別公開始まる。
2001年（平成13）	城西国際大学開学10周年。 図書館棟1階に城西国際大学水田美術館開館。
2009年（平成21）	水田家より鈴木春信《六玉川》が寄贈される。
2011年（平成23）	城西大学水田美術館が新装開館。
2013年（平成25）	水田家より宮川長春《江戸風俗図巻》など肉筆浮世絵5点、上村松園《美人納涼図》など近代日本画7点が寄贈される。

Ⅱ 展覧会

Ⅱ－１ 開館日数・入館者数

2020年度と2021年9～10月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため展覧会（通常開館）は中止した。

総計	＊2020年8月～2021年12月		
	展覧会	特別開館	合計
日数	73日	16日	89日
人数	1,559名	399名	1,958名

内訳

＊入館者数の「学生」「教職員」は、本学在学、在職の者を指す。
＊臨時開館を含む。

回数	展覧会名	延日数	学生	教職員	一般	合計
92	メディア学部後岡喜信教授退官記念展 JAPAN CHINA INDIA as BEAUTY					
	2021年4月19～30日	11日	77名	75名	20名	172名
93	佐藤辰作 1970-2020					
	2021年5月18日～6月12日	20日	94名	46名	375名	515名
94	プルチョウコレクション展 風俗画と源氏絵を中心に					
	2021年6月22日～7月17日、7月31日	21日	69名	53名	289名	411名
95	相撲浮世絵 房総の力士そろい踏み					
	2021年11月16日～12月11日、12月13日	21日	140名	41名	280名	461名
特別開館（学内行事にあわせて開館）						
	房総の伊達男たち					
	2020年8月1、20日、9月12日、10月15、22、24、 31日、12月5日、2021年3月13日、4月2日	10日	96名	54名	165名	315名
	水田コレクション展 四季の風物詩 通常開催は2022年度に延期					
	2021年8月21、28日、9月11日、10月29日 11月2、6日	6日	18名	8名	58名	84名

92 メディア学部後岡喜信教授退官記念展 JAPAN CHINA INDIA as BEAUTY

2021年4月19日（月）～30日（金）

メディア学部で教鞭をとられた後岡喜信教授の退官を記念し、これまで個展等で発表されてきた写真作品を紹介した。

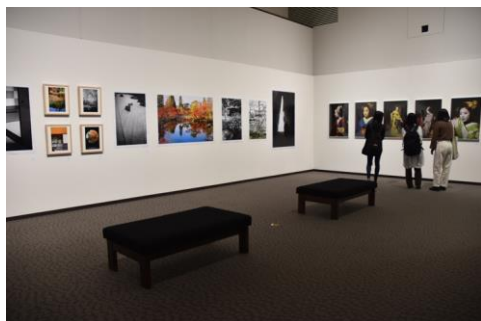


出品目録

*すべて作家蔵

1. 《富美芳 #1》MAIKO Series／2017年／京都／エプソンインクジェットプリント／94.0×141.0 cm
2. 《叶子 #1》MAIKO Series／2017年／京都／エプソンインクジェットプリント／60.0×90.0 cm
3. 《小よし #1》MAIKO Series／2017年／京都／エプソンインクジェットプリント／60.0×90.0 cm
4. 《小よし #2》MAIKO Series／2017年／京都／エプソンインクジェットプリント／60.0×90.0 cm
5. 《叶子 #2》MAIKO Series／2017年／京都／エプソンインクジェットプリント／60.0×90.0 cm
6. 《富美芳 #2》MAIKO Series／2017年／京都／エプソンインクジェットプリント／60.0×90.0 cm
7. 《龍源院》2017年／京都／エプソンインクジェットプリント／94.0×141.0 cm
8. 《仁和寺》2017年／京都／エプソンインクジェットプリント／60.0×90.0 cm
9. 《観智院》2017年／京都／エプソンインクジェットプリント／60.0×90.0 cm
10. 《永観堂》2017年／京都／エプソンインクジェットプリント／135.0×90.0 cm
11. 《瑞峯院》2017年／京都／エプソンインクジェットプリント／60.0×90.0 cm
12. 《仁和寺》2017年／京都／エプソンインクジェットプリント／24.0×36.0 cm
13. 《源光庵》2017年／京都／エプソンインクジェットプリント／24.0×36.0 cm
14. 《龍安寺》2017年／京都／エプソンインクジェットプリント／24.0×36.0 cm
15. 《桂離宮》2017年／京都／エプソンインクジェットプリント／24.0×36.0 cm
16. 《桂離宮》2017年／京都／エプソンインクジェットプリント／60.0×90.0 cm
17. 《龍安寺》2017年／京都／エプソンインクジェットプリント／90.0×60.0 cm
18. 《雲龍院》2017年／京都／エプソンインクジェットプリント／60.0×90.0 cm
19. 《外灘 上海》2009年／上海／エプソンインクジェットプリント／60.0×60.0 cm
20. 《乍浦路 上海》2009年／上海／エプソンインクジェットプリント／60.0×60.0 cm
21. 《乍浦路 上海》2009年／上海／エプソンインクジェットプリント／60.0×60.0 cm
22. 《乍浦路 上海》2009年／上海／エプソンインクジェットプリント／60.0×60.0 cm
23. 《大名路 上海》2009年／上海／エプソンインクジェットプリント／60.0×60.0 cm
24. 《旅順路 上海》2009年／上海／エプソンインクジェットプリント／60.0×60.0 cm
25. 《鼓浪嶼 厦門》2009年／厦門／エプソンインクジェットプリント／240.0×80.0 cm
26. 《Chandni Chowk》2012年／ニューデリー／エプソンインクジェットプリント／30.5×46.0 cm

27. 《Chandni Chowk》 2012 年／ニューデリー／エプソンインクジェットプリント／46.0×30.5 cm
28. 《Chandni Chowk》 2012 年／ニューデリー／エプソンインクジェットプリント／30.5×46.0 cm
29. 《Chandni Chowk》 2012 年／ニューデリー／エプソンインクジェットプリント／46.0×30.5 cm
30. 《Chandni Chowk》 2012 年／ニューデリー／エプソンインクジェットプリント／46.0×30.5 cm
31. 《Chandni Chowk》 2012 年／ニューデリー／エプソンインクジェットプリント／30.5×46.0 cm



93 佐藤辰作 1970-2020

2021年5月18日(火)～6月12日(土)

佐藤辰作(1952～)は、山形の山河や房総の海を題材に、季節や天候、時間の移ろいの中で、自然のさまざまな表情をとらえた油彩画を制作している。

佐藤は山形県に生まれ、阿佐ヶ谷美術専門学校で橋本博英に師事し、在学中より主に個展、グループ展で作品を発表してきた。油彩画の正統な技法にのっとりながら、静物、風景問わず、澄んだ色彩、緻密な構成による作品を次々と制作し評価を得た。東金に転居後、アトリエから出て風景と対峙して描き上げる方法をとってからは、穏やかな光や風を感じさせる画風へと変化し、その個性は一層深まりをみせている。

2011年に開催した「佐藤辰作展 外房の風 III」では、外房の風景画に焦点を当てた。このたびの展覧会では、静物画や人物画も展示し、初期作から近作まで画風の変遷に注目しながら、佐藤の半世紀にわたる歩みを紹介した。



出品目録

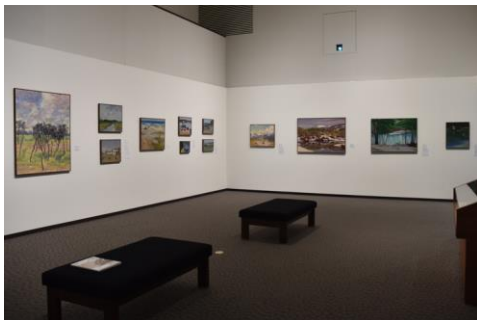
※すべて作家蔵

1. 《湖畔》1975年／油彩、キャンバス／10F 53.0×45.5 cm
2. 《雪解けの地蔵沼 月山》1980年／油彩、キャンバス／40P 72.7×100.0 cm
3. 《芽吹く頃 月山地蔵沼》2006年／油彩、キャンバス／50P 80.3×116.7 cm
4. 《雲湧く峰 月山》2019年／油彩、キャンバス／15F 53.0×65.2 cm
5. 《君ヶ浜風景》1978年／油彩、キャンバス／8P 33.3×45.5 cm
6. 《緑の釣舟》1978年／油彩、キャンバス／8M 27.3×45.5 cm
7. 《釣舟のある港》1985年／油彩、キャンバス／8F 38.0×45.5 cm
8. 《釣舟の人》1985年／油彩、キャンバス／4F 24.2×33.3 cm
9. 《寄せる波 九十九里浜》1999年／油彩、キャンバス／20F 60.6×72.7 cm
10. 《作田川風景 東金》2004年／油彩、キャンバス／10F 45.5×53.0 cm
11. 《犬のいる港 片貝港》2004年／油彩、キャンバス／8F 38.0×45.5 cm
12. 《浜辺の松の木 九十九里浜 小松》2012年／油彩、キャンバス／50F 116.7×91.0 cm
13. 《夏の家》2013年／油彩、キャンバス／30F 72.7×91.0 cm
14. 《風の岬》2013年／油彩、キャンバス／80F 112.0×145.5 cm
15. 《静物》1973年／油彩、キャンバス／15F 53.0×65.2 cm
16. 《時計のある静物》1974年／油彩、板／10F 53.0×45.5 cm

17. 《オレンジのある静物》 1979 年／油彩、キャンバス／20M 72.7×50.0 cm
18. 《静物》 1985 年／油彩、キャンバス／10F 45.5×53.0 cm
19. 《無花果》 1982 年／油彩、キャンバス／8F 38.0×45.5 cm
20. 《窓辺の静物》 1986 年／油彩、キャンバス／10F 53.0×45.5 cm
21. 《花のある窓から》 1994 年／油彩、キャンバス／30F 91.0×72.7 cm
22. 《桃の静物》 2001 年／油彩、キャンバス／6F 31.8×41.0 cm
23. 《蜜柑と葡萄》 2014 年／油彩、キャンバス／8F 38.0×45.5 cm
24. 《壺と玉葱》 2018～19 年／油彩、キャンバス／12F 50.0×60.6 cm
25. 《裸婦》 1972～74 年／油彩、キャンバス／15F 65.2×53.0 cm
26. 《室内裸婦》 1977 年／油彩、キャンバス／30F 91.0×72.7 cm
27. 《八才の夏》 2019 年／油彩、キャンバス／10F 53.0×45.5 cm
28. 《ひととき》 2019 年／油彩、キャンバス／4F 33.3×24.2 cm
29. 《自画像》 2020 年／油彩、キャンバス／10P 53.0×41.0 cm
30. 《素描》 1975 年／鉛筆、紙／39.0×54.0 cm
31. 《玉ねぎ》 2018 年／水彩、紙／26.0×36.0 cm
32. 《乗鞍高原 朝》 1991 年／油彩、板／SM 15.8×22.7 cm
33. 《諏訪湖風景》 1991 年／油彩、板／SM 15.8×22.7 cm

館内放映：スライドショー「佐藤辰作作品選 画集『佐藤辰作 1970-2020』(2021 年) より」8 分

広報記録：ちばイベントガイド欄 (『読売新聞』2021 年 5 月 28 日)、Art 欄 (『月刊ぐるっと千葉』2021 年 5 月号、6 月号)



94 プルチョウコレクション展 風俗画と源氏絵を中心に

2021年6月22日（火）～7月17日（土）

臨時開館：7月31日（土）

日本文学研究者ヘルベルト・プルチョウ氏（1939～2010）が収集した日本美術コレクションを紹介した。プルチョウ氏は、日本留学中に郷土人形の収集を始め、カリフォルニア大学ロサンゼルス校で教鞭をとっていた頃に日本美術のハシリコレクションと出会い、関心が絵画へ向かったという。部屋に掛軸や屏風などを飾り、生活の中で日本美術を楽しんでいた。2008年に当館で開催したプルチョウコレクション展では、郷土人形、旧ハシリコレクション、歌仙絵と物語絵を紹介し、収集の過程をたどった。

本学国際人文学部で多くの学生を指導していたプルチョウ氏は、その博識と穏やかな人柄で慕われていたが、残念ながら2010年に逝去された。このたびの展覧会では、最晩年に収集された《月次風俗図屏風》や《吉野山・和歌浦図屏風》などの初公開の風俗画とともに、コレクションの中でも華やかな源氏物語を描いた作品を展示した。日本文化を独自の視点で探究したジャパノロジスト、プルチョウ氏の愛蔵品の数々をお楽しみいただく機会となった。



出品目録

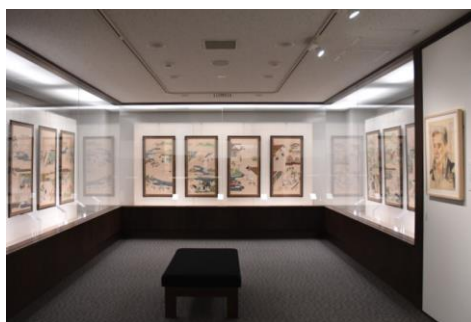
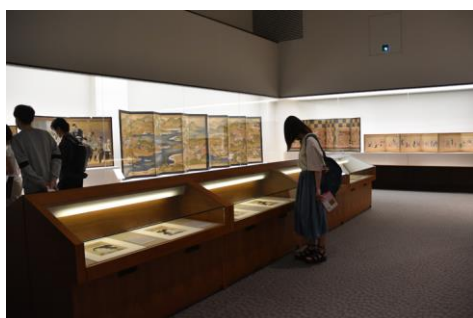
*すべて個人蔵

1. 無款《遊楽図屏風》絹本着色／6曲1隻／38.5×340.0 cm
2. 無款《月次風俗図屏風》江戸時代／紙本着色／6曲1隻／各 37.5×55.5 cm
3. （土佐光貞落款）《吉野山・和歌浦図屏風》江戸時代／紙本着色／6曲1双／各 124.3×270.0 cm
4. 無款《門付図屏風》江戸時代／紙本着色／2曲1隻／76.7×145.2 cm
5. 狩野派《源氏物語女君図屏風》江戸時代／紙本着色／4曲1隻、2曲1隻／各 61.3×44.1 cm
6. T. ラティシェフ《ヘルベルト・プルチョウ像》1993年／紙、色鉛筆、クレパス／1面／61.3×43.5 cm
7. 無款《源氏物語図》江戸時代／紙本着色／12面／各 111.4×54.4 cm
8. 楊洲周延《時代かがみ 慶長の頃》明治29年（1896）／大判錦絵／35.5×23.3 cm
9. 楊洲周延《時代かがみ 正保の頃》明治30年（1897）／大判錦絵／35.3×21.9 cm
10. 楊洲周延《時代かがみ 寛文の頃》明治30年（1897）／大判錦絵／36.3×23.6 cm
11. 楊洲周延《時代かがみ 天和の頃》明治29年（1896）／大判錦絵／36.0×23.8 cm
12. 楊洲周延《時代かがみ 元禄の頃》明治29年（1896）／大判錦絵／37.2×25.0 cm
13. 楊洲周延《時代かがみ 享保の頃》明治30年（1897）／大判錦絵／36.3×24.2 cm
14. 楊洲周延《時代かがみ 享保の頃》明治30年（1897）／大判錦絵／35.3×22.1 cm
15. 楊洲周延《時代かがみ 宝暦の頃》明治29年（1896）／大判錦絵／37.4×25.0 cm
16. 楊洲周延《時代かがみ 明和の頃》明治30年（1897）／大判錦絵／35.5×23.1 cm

17. 楊洲周延《時代かがみ 享和之頃》明治 29 年（1896）／大判錦絵／35.6×23.9 cm
18. 楊洲周延《時代かがみ 文化之頃》明治 29 年（1896）／大判錦絵／35.4×23.0 cm
19. 楊洲周延《時代かがみ 弘化之ころ》明治 30 年（1896）／大判錦絵／37.5×24.7 cm
20. 楊洲周延《時代かがみ 弘化之頃》明治 29 年（1896）／大判錦絵／37.5×25.1 cm
21. 楊洲周延《時代かがみ 慶応之頃》明治 29 年（1896）／大判錦絵／35.6×23.9 cm
22. 楊洲周延《時代かがみ 明治》明治 30 年（1897）／大判錦絵／35.5×23.0 cm
23. 楊洲周延《時代かがみ 明治》明治 30 年（1897）／大判錦絵／36.3×23.7 cm

館内放映：スライドショー「吉野山・和歌浦めぐり」7 分

広報記録：Art 欄（『月刊ぐるっと千葉』2021 年 7 月号）



95 相撲浮世絵 房総の力士そろい踏み

2021 年 11 月 16 日（火）～12 月 11 日（土）

臨時開館：12 月 6 日（月）、13 日（月）

谷風、小野川、雷電ら名力士が活躍した天明・寛政期（1781～1801）の江戸相撲黄金時代に、勝川春章による力士の特徴を似顔で描き分けた相撲絵がさかんに出版され、相撲絵が浮世絵の一ジャンルとして確立した。力士の立ち姿に加え、取組や日常の姿など画題が広がり、さらに歌川国貞によって力士を大きく捉えた迫力ある相撲絵へと発展した。

草相撲が盛んだった房総では、江戸相撲の巡業も度々あり、力自慢の若者たちは角界を目指し、多くの力士が誕生した。なかでも小柳常吉と荒馬吉五郎の対決は、谷風と小野川以来の好取組として観衆を沸かせた。怪童力士・鬼若力之助は 8 歳にして体重 67.5 kg もあり、土俵入りを披露して人気を集める。明治時代には、境川浪右衛門と小錦八十吉が横綱まで上りつめた。

このたびの展覧会では、江戸から明治までの房総出身の力士たちの勇姿を浮世絵によって偲んだ。あわせて、相撲小屋が建つ回向院境内の風景、横綱土俵入り、支度部屋の様子を描いた作品やおもちゃ絵など、さまざまな相撲絵をお楽しみいただいた。



出品目録

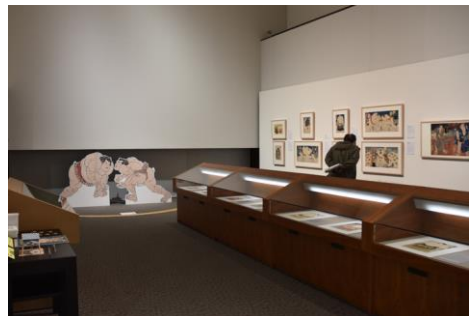
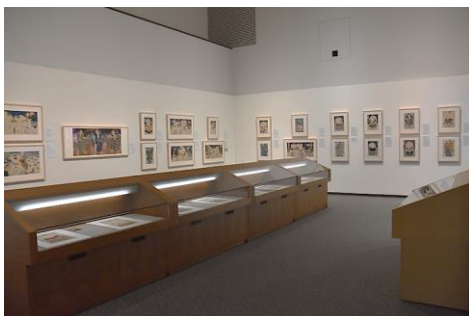
1. 勝川春亭《鬼面山与一右エ門》文化 10 年（1813）／大判錦絵／版元＝丸屋文右衛門／当館蔵
2. 勝川春英《鬼面山与一右エ門》寛政 11 年～文化 10 年（1799～1813）／大判錦絵／版元＝西村屋与八／相撲博物館蔵
3. 勝川春英《戸田川鷺之助》文化 5～11 年（1808～14）／大判錦絵／版元＝西村屋与八／相撲博物館蔵
4. 二代歌川豊国《荒馬大五郎》文政 8 年～天保 3 年（1825～32）／大判錦絵／版元＝山本屋平吉／相撲博物館蔵
5. 勝川春和《大浜長吉》文政 10 年～天保 4 年（1827～33）／大判錦絵／版元＝鳶屋吉蔵／相撲博物館蔵
6. 三代歌川豊国（国貞）《雲州 小松山富吉》文政 8 年～天保 9 年（1825～38）／大判錦絵／版元＝西村屋与八／相撲博物館蔵
7. 二代歌川豊国《稲川政之助》天保 8～14 年（1837～43）／大判錦絵／版元＝上州屋金蔵／当館蔵
8. 三代歌川豊国（国貞）《四国 稲川政之助》天保 8～13 年（1837～42）／大判錦絵／版元＝西村屋与八／相撲博物館蔵
9. 三代歌川豊国《黒岩・稲川》嘉永 2～4 年（1849～51）／大判錦絵／版元＝恵比須屋庄七／相撲博物館蔵
10. 三代歌川豊国（国貞）《稲川政之助・立神雲右エ門》天保 11～13 年（1840～42）／大判錦絵 3 枚続／版元＝山口屋藤兵衛／当館蔵

11. 三代歌川豊国（国貞）《小柳常吉》天保 8～14 年（1837～43）／大判錦絵／版元＝山本屋平吉／当館蔵
12. 三代歌川豊国（国貞）《江戸名所之内 真乳山 江戸 小柳常吉》天保 14 年（1843）頃／大判錦絵／版元＝
葛屋吉蔵／相撲博物館蔵
13. 三代歌川豊国《相撲繁栄溜り入の図 東ノ方 小柳》天保 15 年～弘化 4 年（1844～47）／大判錦絵／版元＝
伊場屋仙三郎／相撲博物館蔵
14. 三代歌川豊国（国貞）《小柳・鬼面山》安政 2 年（1855）／大判錦絵 3 枚続／版元＝山口屋藤兵衛／当館蔵
15. 三代歌川豊国（国貞）《不知火諾右エ門・小柳常吉》天保 11～13 年（1840～42）／大判錦絵 3 枚続／版元＝山
口屋藤兵衛／当館蔵
16. 三代歌川豊国（国貞）《雲生嶽霧右エ門・小柳常吉》天保 14 年～嘉永 2 年（1843～49）／大判錦絵 3 枚続／
版元＝藤岡屋彦太郎または慶次郎／当館蔵
17. 三代歌川豊国（国貞）《荒馬吉五郎》天保 10～14 年（1839～43）／大判錦絵／版元＝山本屋平吉／相撲博物
館蔵
18. 三代歌川豊国（国貞）《江戸名所ノ内 王子 八戸 荒馬吉五郎》天保 14 年（1843）／大判錦絵／版元＝葛
屋吉蔵／相撲博物館蔵
19. 三代歌川豊国《小柳常吉・秀の山雷五郎・荒馬吉五郎》天保 15 年～弘化 2 年（1844～45）頃／大判錦絵 6 枚
続／版元＝万屋重兵衛／相撲博物館蔵
20. 三代歌川豊国（国貞）《荒馬吉五郎・小柳常吉》天保 13、14 年（1842、43）／大判錦絵 3 枚続／版元＝藤岡屋
彦太郎または慶次郎／当館蔵
21. 三代歌川豊国《勸進大相撲之図》天保 15 年（1844）／大判錦絵 3 枚続／版元＝葛屋吉蔵／相撲博物館蔵
22. 三代歌川豊国《桂野勇吉》天保 15 年～弘化 2 年（1844～45）頃／大判錦絵／版元＝葛屋重三郎／相撲博物館
蔵
23. 三代歌川豊国《桂野勇吉》天保 15 年～弘化 4 年（1844～47）／大判錦絵／版元＝和泉屋市兵衛／相撲博物館
蔵
24. 三代歌川豊国《相撲繁栄溜り入の図 東ノ方 桂の》天保 15 年～弘化 4 年（1844～47）／大判錦絵／版元＝
伊場屋仙三郎／相撲博物館蔵
25. 歌川国芳《桂野勇吉・黒雲竜五郎》天保 15 年～弘化 4 年（1844～47）／大判錦絵 3 枚続／版元＝藤岡屋彦太
郎または慶次郎／当館蔵
26. 歌川国芳《鬼若力之助》嘉永 3 年（1850）／大判錦絵／版元未詳／当館蔵
27. 三代歌川豊国《鬼若力之助》嘉永 3 年（1850）／大判錦絵／版元＝山本屋平吉／相撲博物館蔵
28. 歌川国芳《紀州 千田川吉蔵》安政 2 年（1855）／大判錦絵／版元＝葛屋吉蔵／相撲博物館蔵
29. 二代歌川国貞《照ヶ嶽右エ門》安政 4 年～明治元年（1857～68）／大判錦絵／版元＝大黒屋平吉／相撲博
物館蔵
30. 松ヶ根幸太夫撰・二代歌川国貞画《待乳山楯之丞》『金剛伝』東の巻より／安政 5 年（1858）／2 巻 1 冊／版
元＝森屋治兵衛、山本屋平吉、葛屋吉蔵／相撲博物館蔵
31. 二代歌川国輝《尾州 境川浪右エ門》明治 3 年（1870）／大判錦絵／版元＝大黒屋平吉／相撲博物館蔵
32. 二代歌川国輝《徳島 小柳常吉》明治 3～10 年（1870～77）／大判錦絵／版元＝大黒屋平吉／相撲博物館蔵
33. 二代歌川国輝《境川・小柳》明治 6 年（1873）／大判錦絵 3 枚続／版元＝大黒屋平吉／谷口公逸氏蔵
34. 二代歌川国輝《見立通俗三国志》／明治 6～9 年（1873～76）／大判錦絵 3 枚続／版元＝大黒屋平吉／相撲博
物館蔵
35. 二代歌川国輝《丸亀 象ヶ鼻平助》／慶応 2 年～明治 5 年（1866～72）／大判錦絵／版元未詳／相撲博物館
蔵
36. 二代歌川国明《東京 千羽ヶ嶽宗助》／明治 11～21 年（1878～88）／大判錦絵／版元未詳／相撲博物館蔵
37. 二代歌川国貞《津 磐石力勝》文久 3 年～明治 8 年（1863～75）／大判錦絵／版元＝伊勢屋鉄次郎または小
林鉄次郎／谷口公逸氏蔵

38. 二代歌川国輝《村岡 佐野山幸吉》明治3年（1870）／大判錦絵／版元＝大黒屋平吉／相撲博物館蔵
39. 二代歌川国輝《姫路 高見山大五郎》慶応2年（1866）／大判錦絵／版元＝大黒屋平吉／相撲博物館蔵
40. 二代歌川国明《姫路 手柄山勝司》明治6～18年（1873～85）／大判錦絵／版元未詳／相撲博物館蔵
41. 二代歌川国明《東京 高見山宗五郎》明治15～21年（1882～88）／大判錦絵／版元＝大黒屋平吉／相撲博物館蔵
42. 井上探景《東京 小錦八十吉》明治17～22年（1884～89）／大判錦絵／版元＝大黒屋平吉／谷口公逸氏蔵
43. 二代歌川国明《御覧出世鏡》明治12年（1879）／錦絵 64.2×36.0 cm／版元＝大黒屋平吉／相撲博物館蔵
44. 歌川国郷《両国大相撲繁栄之図》嘉永6年（1853）／大判錦絵3枚続／版元＝大黒屋平吉／当館蔵
45. 歌川芳虎《勸進大相撲取組之図》嘉永3年（1850）／大判錦絵3枚続／版元＝有田屋清右衛門／当館蔵
46. 三代歌川豊国《東ノ方土俵入之図》弘化2年（1845）／大判錦絵3枚続／版元＝和泉屋市兵衛／当館蔵
47. 二代歌川国明《境川浪右エ門・手柄山勝司・勝ノ浦与一右エ門》明治11年（1878）／大判錦絵3枚続／版元＝大黒屋平吉／当館蔵
48. 三代歌川豊国《東の方支度部屋ノ図》嘉永元～2年（1848～49）頃／大判錦絵3枚続／版元＝小林泰治郎／当館蔵
49. 三代歌川豊国《行司 式守伊之助》万延元年（1860）／大判錦絵／版元＝若狭屋与市／谷口公逸氏蔵
50. 二代歌川国《貞樹太夫改式守鬼一郎》文久3年（1863）／大判錦絵／版元＝大黒屋平吉／谷口公逸氏蔵
51. 歌川国郷《江戸両国回向院大相撲之図》安政5年（1858）／大判錦絵3枚続／版元＝若狭屋与市／相撲博物館蔵
52. 三代歌川豊国《東海道五十三対 島田の駅 大井川》天保15年～弘化4年（1844～47）／大判錦絵／版元＝遠州屋又兵衛／当館蔵
53. 三代歌川豊国《相撲人形 花の取組》天保15年～弘化2年（1844～45）頃／大判錦絵／版元＝喜多屋孫兵衛／相撲博物館蔵
54. 歌川国芳《風流角力数面》天保11年～弘化元年（1840～44）頃／大判錦絵／版元＝丸屋清次（治）郎／相撲博物館蔵
55. 無款《相撲組上絵》大判錦絵／版元＝和泉屋市兵衛／相撲博物館蔵

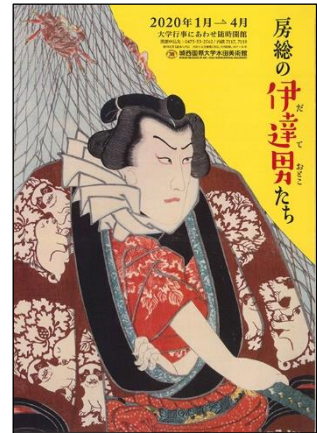
館内放映：スライドショー「江戸の相撲見物」5分

広報記録：「郷土力士 迫力の浮世絵 東金」（『読売新聞』2021年11月29日）、「相撲浮世絵 房総の力士そろい踏み」展開催（『相撲』2021年11月号、12月号）、Art 欄（『月刊ぐるっと千葉』2021年12月号）



2020 年度特別開館 房総の伊達男たち

2020 年 8 月～2021 年 4 月 学内行事にあわせ随時開館



出品目録

※すべて当館蔵

1. 歌川国貞《小柳常吉》天保 8 年～弘化元年(1837～44)／大判錦絵／版元＝山本久兵衛または山本平吉
2. 歌川国貞《不知火諾右エ門 小柳常吉》天保 11～13 年(1840～42)／大判錦絵 3 枚続／版元＝山口屋藤兵衛
3. 歌川芳虎《勧進大相撲取組之図》嘉永 3 年(1850)／大判錦絵 3 枚続／版元＝有田屋清衛門
4. 三代歌川豊国《東の方支度部屋ノ図》嘉永 2 年(1849)／大判錦絵 3 枚続／版元＝小林泰治郎
5. 三代歌川豊国《今様押絵鏡 伊豆屋与三郎》万延元年(1860)／大判錦絵／版元＝松林堂
6. 三代歌川豊国《今昔児手柏一 しほ干の与三 かうもり安》安政 2 年(1855)／大判錦絵／版元＝井筒屋
7. 三代歌川豊国《おとみ 与三郎》万延元年(1860)／大判錦絵／版元＝木屋宗次郎
8. 月岡芳年《新撰東錦絵 於富与三郎話》明治 18 年(1885)／大判錦絵 2 枚続／版元＝綱島亀吉
9. 三代歌川豊国《八代目三升七回忌追善 源氏店の場》万延元年(1860)／大判錦絵／版元＝大黒屋金之助・金次郎
10. 三代歌川豊国《和泉屋多右(左)衛門 きられ与三 手代藤八 横ぐしおとみ》万延元年(1860)／大判錦絵 3 枚続／版元＝丸屋甚八
11. 三代歌川豊国《与三良一代咄シ おとみなれ合》安政 4 年(1857)／大判錦絵 2 枚続／版元＝太田屋多吉
12. 三代歌川豊国《きられ与三 縮うり越後新介 横ぐしおとみ》万延元年(1860)／大判錦絵 3 枚続／版元＝井筒屋
13. 豊原国周《東京花国周漫画 河原崎権之助の坊主与三》明治 5 年(1872)／大判錦絵／版元＝万屋孫兵衛
14. 無款《夜無情浮世有様 蝙蝠安 きられ与三》安政 2 年(1855)／大判錦絵 2 枚続の左／版元未詳
15. 三代歌川豊国《近世水滸伝 二代目沢村訥升の井岡の捨五郎》文久 2 年(1862)／大判錦絵／版元＝伊勢屋兼吉
16. 月岡芳年《近世侠義伝 飯岳捨五郎》慶応元年(1865)／大判錦絵／版元＝伊勢屋喜三郎
17. 三代歌川豊国《近世水滸伝 二代目中村福助の笠川髭造》文久元年(1861)／大判錦絵／版元＝伊勢屋兼吉
18. 三代歌川豊国《近世水滸伝 四代目中村芝翫の競力富五郎》文久元年(1861)／大判錦絵／版元＝伊勢屋兼吉
19. 豊原国周《善悪鬼人鏡 水寫左門》大判錦絵／明治元年(1868)／版元＝津ノ伊
20. 三代歌川豊国《近世水滸伝 二代目沢村訥升の美図嶋左門》文久 2 年(1862)／大判錦絵／版元＝伊勢屋兼吉
21. 歌川芳虎《近世水滸伝の内 笠川髭蔵競力民五郎と計て闇に飯岡捨五郎が妾宅を襲ふの図》慶応 3 年(1867) 大判錦絵 3 枚続／版元＝平野屋新蔵
22. 歌川芳虎《於下総国笠河原競力井岡豪傑等大闘争図》元治元年(1864)／大判錦絵 3 枚続／版元＝伊勢屋兼吉

23. 三代歌川豊国《近世水滸伝 河原崎権十郎の成田の新蔵》文久 2 年(1862)／大判錦絵／版元＝伊勢屋兼吉
24. 三代歌川豊国《近世水滸伝 五代目坂東彦三郎の篠崎の政吉》文久 2 年(1862)／大判錦絵／版元＝伊勢屋兼吉
25. 三代歌川豊国《里見八犬士之一個 犬塚信乃戌孝 犬飼現八信道 犬山道節忠与 犬阪毛埜胤智 犬江親兵衛仁 犬村大角正礼 犬田小文吾悌順 犬川莊助義任》弘化 4 年～嘉永 3 年(1847～50)／大判錦絵 8 枚続／版元＝恵比(美)寿屋庄
26. 歌川国芳《曲亭翁精著八犬士随一 犬飼現八信道 犬塚信乃戌孝》天保 7～9 年(1836～38)頃／大判錦絵 2 枚続／版元＝(西村屋与八)
27. 月岡芳年《芳流閣両雄動》明治 18 年(1885)／大判錦絵堅 2 枚続／版元＝松井栄吉
28. 歌川国芳《義勇八犬伝 犬田小文吾悌順》弘化 4 年～嘉永 5 年(1847～52)／大判錦絵／版元＝清水屋
29. 歌川国芳《曲亭翁精著八犬士随一 犬田小文吾悌順》天保 7～9 年(1836～38)頃／大判錦絵／版元＝(西村屋与八)
30. 月岡芳年《美勇水滸伝 犬田小文吾悌順》慶応 2 年(1866)／中判錦絵／版元＝近江屋久助・久次郎
31. 歌川国芳《木曾街道六十九次之内 厥 犬山道節》嘉永 5 年(1852)／大判錦絵／版元＝井筒屋庄吉
32. 一養亭芳淹《里見八犬伝 初代実川延若の蜷崎照文と四代目嵐璃寛の犬坂毛野》明治 7 年(1874)／中判錦絵 2 枚続／版元＝八尾善
33. 歌川国芳《曲亭翁精著八犬士随一 犬江親兵衛仁》天保 7～9 年(1836～38)頃／大判錦絵／版元＝(西村屋与八)
34. 歌川国芳《里見八犬伝 犬江親兵衛仁》弘化 4 年～嘉永 5 年(1847～52)／大判錦絵／版元＝三河屋鉄五郎
35. 月岡芳年《美勇水滸伝 犬江親兵衛仁》慶応 2 年(1866)／中判錦絵／版元＝近江屋久助・久次郎
36. 巻金之助《里見八犬伝の内対牛楼の場組上げ》明治 33 年(1900)／大判錦絵 5 枚組／版元＝牧金之助



Ⅱ－3 これまでの展覧会一覧

年度	回数	展覧会名
2001年度 [平成13]	1	城西国際大学水田美術館開館記念 浮世絵名作展 4月7日～14日
	2	JIU開学10周年記念 漢代画像石拓本展—刻された神仙の物語— 7月9日～28日
	3	JIU開学10周年記念 浮世絵版画のできるまで 9月19日～10月20日
	4	JIU開学10周年記念 江戸絵画名品展—音の祝宴— 10月30日～11月16日
2002年度 [平成14]	5	水田コレクション名品展—近代日本画の諸相— 4月15日～5月11日
	6	柳澤紀子展—水邊の庭— 6月11日～7月19日
	7	江戸の貞女・賢女・女傑—仁科又亮氏寄贈《古今名婦伝》を中心に— 9月25日～10月19日
	8	水田コレクション 浮世絵は楽し① 版型のヴァリエーション 11月2日～22日
2003年度 [平成15]	9	水田コレクション 浮世絵は楽し② 役者絵 4月15日～5月10日
	10	吉増剛造展 一滴の光 1984—2003 6月3日～7月19日
	11	房総の素封家と近代日本画壇—大観・紫紅とその周辺— 9月24日～10月25日
	12	水田コレクション 浮世絵は楽し③ 美人画 11月2日～22日
	＊	13～15年度新収蔵品展示 12月20日～〈2004年〉1月28日の随時
2004年度 [平成16]	13	水田コレクション 浮世絵は楽し④ 版元と出版 4月13日～5月1日
	14	鴨川市所蔵藤澤衛彦コレクション 摺物 江戸の風雅な年賀状 前期 5月25日～6月12日 後期 6月22日～7月10日
	＊	収蔵品特集展示《古今名婦伝》—江戸時代の女性像— 7月16日、24～26日
	15	房総ゆかりの画家 齊藤惇展—心に響く情景— 9月21日～10月23日
	16	水田コレクション 浮世絵は楽し⑤ 技巧と表現 11月5日～27日
	＊	収蔵品特集展示 版画のいろいろ—拓本・浮世絵・銅版画— 12月11日～〈2005年〉1月29日の随時
2005年度 [平成17]	17	第1回メディア文化学科卒業制作優秀展 4月1日～7日
	18	水田コレクション名品展—四季の風物詩— 4月12日～5月7日
	19	東金ゆかりの美術 前期 5月26日～6月18日 後期 6月23日～7月16日
	20	近代の能画家 月岡耕漁展 9月22日～10月22日
	21	水田コレクション展 浮世絵は楽し⑥ 結髪 11月5日～26日
	＊	第2回メディア文化学科卒業制作選抜展 〈2006年〉1月29日、30日
	＊	第2回メディア文化学科卒業制作展 〈2006年〉2月9日～13日

年度	回数	展覧会名
2006年度 [平成18]	22	第2回メディア文化学科卒業制作優秀展 3月13日～18日、4月1日、11日～18日
	23	江戸土産としての浮世絵 広重《名所江戸百景》を中心に 5月9日～6月3日
	24	橋本博英展—色彩の交響曲— 6月27日～7月22日
	25	房総ゆかりの画家 石井林響展 後援団体「総風会」を中心に 10月3日～28日
	26	「房総風景」展—館蔵浮世絵コレクションより— 11月21日～12月16日
	27	第3回メディア学部卒業制作展 〈2007年〉3月14日～17日
2007年度 [平成19]	28	第3回メディア学部卒業制作優秀展 4月1日、10日～21日
	29	生誕120年 田岡春径展—房総に生きた南画家 前期 5月15日～6月9日 後期 6月19日～7月14日
	30	映像でふり返るアジア海洋映画祭イン幕張 9月20日～26日
	31	水田コレクション浮世絵名品展 特集＝判型 10月2日～20日
	32	房総の素封家と若き日本画家たち 山口蓬春を中心に 11月2日～12月1日
	＊	収蔵品特集展示 房総ゆかりの美術 12月8日～〈2008年〉2月18日の随時
	—	ハンガリー作家二人展 レザーコラージュとフェルト作品 10月4日、5日 城西国際大学本部棟3階ギャラリーにて
2008年度 [平成20]	33	第4回メディア学部卒業制作優秀展 4月2日、8日～19日
	34	プルチョウ・コレクション あるジャパノロジストの視点—源氏絵、歌仙絵を中心に 5月13日～6月11日
	35	野田市郷土博物館所蔵 明治の匠・勝文斎の押絵行灯 6月24日～7月19日
	36	水田コレクション浮世絵名品展 特集＝役者絵 9月30日～10月18日
	37	酒井亜人展 日本画壇のモダニスト 11月1日～29日
	＊	特別開館 収蔵品特集展示 旅と記憶 12月6日～〈2009年〉3月17日の随時
2009年度 [平成21]	38	浮世絵に見る子どもの情景 公文浮世絵コレクション・水田コレクションより 4月7日～25日
	39	忠臣蔵 近代木版画でたどる物語 6月9日～7月4日
	40	生誕100年記念展 銅版画の巨匠 浜口陽三 9月1日～10月3日
	41	水田コレクション 浮世絵名品展 特集＝美人画 10月31日～11月21日
	＊	特別開館 収蔵品特集展示 伝説のヒーローたち 12月～〈2010年〉3月の随時
2010年度 [平成22]	42	第6回メディア学部卒業制作優秀展 4月2日、6日～17日
	43	旅の版画家 川瀬巴水—大正・昭和の懐かしい風景— 前期 5月25日～6月12日、後期 6月15日～7月3日
	44	森洋子展 子どもたちのみる夢 水田宗子詩集『サンタバーバラの夏休み』出版記念 7月6日～24日
	45	水田コレクション展 浮世絵の版元と出版 9月28日～10月16日
	46	石版画の開拓者 石井鼎湖 知られざる明治美術 10月30日～11月27日
	＊	特別開館 収蔵品特集展示 物語と絵画 12月～〈2011年〉3月の随時

年度	回数	展覧会名
2011年度 [平成23]	47	浮世絵で遊ぶ 江戸の笑いと想像力 5月10日～6月4日
	48	近世版画の色と技 浮世絵から若冲の拓版画まで 6月21日～7月16日
	49	水田コレクション浮世絵名品展 四季の風物詩 10月4日～22日、11月5日～7日
	50	描かれた万葉の世界 近代日本画にみる古代への憧れ 11月15日～12月10日
	＊	特別開館 収蔵品特集展示 子どもたちの時間 12月～〈2012年〉3月の随時
2012年度 [平成24]	51	第8回メディア学部卒業制作優秀展 3月15日～17日、4月3日～13日
	52	水田コレクション浮世絵展 結び髪 5月15日～6月2日
	53	佐藤辰作展 外房の風Ⅲ 6月19日～7月21日
	54	写真展 コーシャ・フェレンツの世界 多元時空 9月25日～10月13日
	55	江戸のスター参上！ 役者絵のいろいろな楽しみ方 11月3日～12月1日
	＊	特別展示 城西国際大学創立20周年記念特別展示 水田コレクション浮世絵名品展 江戸の視覚革命 4月28日、5月2日
	＊	特別展示 高円宮殿下の思い出 2002年日韓ワールドカップゆかりの品々 5月22日、12月11日
	＊	特別開館 収蔵品特集展示 役者絵のいろいろ 8～9月、〈2013年〉1～3月の随時
2013年度 [平成25]	56	水田コレクション展 浮世絵の判型 5月7日～25日
	57	第9回メディア学部卒業制作優秀展 5月30日～6月7日
	58	病に負けるな！ 浮世絵にみる流行り病とくすり 6月18日～7月13日
	59	九十九里浜の網主文化 齋藤滄洲と文人の交遊 10月1日～26日
	60	明治の子どもたち 版画にみる遊びと教育 11月3日～12月7日
	＊	特別開館 水田清子名誉理事長を偲んで 水田コレクション近代日本画の名品とゆかりの品々 3月15日、4月2日
	＊	特別開館 水田家寄贈新収蔵品展 9月11日、14日
	＊	特別開館 収蔵品特集展示 房総の旅 7～9月、12月 〈2014年〉1～2月の随時
2014年度 [平成26]	61	第10回メディア学部卒業制作優秀展 3月13日～15日
	62	水田コレクション新収蔵品展 4月2日、8日～26日
	63	浮世絵でたどる房総の旅 6月10日～7月5日
	64	水田コレクション浮世絵展 江戸のきもの 9月24日～10月11日
	65	糖業協会コレクション 日本近代洋画の輝き 前期 10月28日～11月15日 後期 11月18日～12月6日
	＊	特別開館 収蔵品特集展示 近代木版画 伝統と革新 7月～9月、12月～〈2015年〉3月の随時

年度	回数	展覧会名
2015年度 [平成27]	66	第11回メディア学部卒業制作優秀展 3月14日、4月13日～17日
	67	水田コレクション浮世絵展 役者絵 4月2日、5月7日～23日
	68	創作版画でめぐるモダン都市東京 前期 6月2日～6月27日 後期 6月30日～7月25日
	69	水田コレクション 浮世絵美人競 10月1日～17日、11月1日～3日
	70	こどもたちのモダンライフ 1920-30年代児童雑誌の原画展 11月10日～12月5日
	71	高円宮コレクション現代根付展 〈2016年〉1月27日、2月1日～13日
	*	特別開館 JIUコレクション新収蔵品展 8月～9月、〈2016年〉2月～3月の随時
2016年度 [平成28]	72	メディア学部クロスメディアコース卒業制作優秀展2016 4月12日～23日
	73	JIUコレクション展 I 浮世絵と近代木版画 5月17日～6月11日 II 5人の現代作家 6月21日～7月16日
	74	銚子・円福寺コレクション 近代日本画展 9月20日～10月15日
	75	北斎の弟子 昇亭北寿 洋風風景画の展開 11月5日～12月3日
	*	特別開館 水田コレクション展 浮世絵の版元と出版 4月2日、4日、7日
	*	特別開館 浮世絵でつづる房総人物伝 12月～〈2017年〉3月の随時
2017年度 [平成29]	76	浮世絵でつづる房総人物伝 1 義民 佐倉宗吾 5月15日～6月10日
	77	橋本博英展 光と風を感じて 6月27日～7月22日
	78	浮世絵の版元と出版 9月26日～10月14日
	79	東金が生んだ文人 安川柳溪 11月4日～12月2日
	*	特別開館 描かれた能 12月～〈2018年〉3月の随時
2018年度 [平成30]	80	メディア学部クロスメディアコース卒業制作優秀展2018 3月15日、4月2日、9日～20日
	81	浮世絵でつづる房総人物伝 アウトローたち Part I 切られ与三郎 5月15日～6月9日 Part II 東金茂右衛門・天保水滸伝 6月13日～6月30日
	82	《昭和職業絵尽》にみる戦前のくらし 7月10日～8月4日
	83	JIUメディアデザインラボ展 8月22日～25日、8月29日～31日、9月8日、9月18日～28日
	84	ホルバートコレクション 近代木版画 10月9日～11月10日
	85	水田コレクション 近代日本画の諸相 11月27日～12月15日

年度	回数	展覧会名
2019年度 [平成31]	86	メディア学部クロスメディアコース卒業制作優秀展2019 3月15日、23日、4月2日、8日～12日
	87	森洋子の空想化石はくぶつかん 絵本原画と大石化石コレクション 5月14日～6月22日
	88	水田コレクション 浮世絵版画の技巧 7月9日～27日
	89	浮世絵でよむ南総里見八犬伝 9月17日～10月12日
	90	東金アーカイブスプロジェクト 携帯カメラで記録された東金の街並、自然、文化 10月29日～11月9日
	91	九十九里浜の網主画家 斎藤巻石 11月19日～12月14日
	*	特別開館 房総の伊達男たち 2020年1月～3月の随時

Ⅲ 教育普及

Ⅲ-1 講演会・ギャラリートーク等

「プルチョウコレクション展 風俗画と源氏絵を中心に」スライドトーク

日時：7月2日（金） 午後1時30分～（約30分） 担当：当館学芸員 参加者数：11名

日時：7月9日（金） 午後1時30分～（約30分） 担当：当館学芸員 参加者数：11名

「相撲浮世絵 房総の力士そろい踏み」講演会

「房総力士の足跡を追って」

日時：11月27日（土） 午後1時30分～3時

講師：谷口公逸氏（大相撲史研究者）

聴講者数：35名

「相撲浮世絵 房総の力士そろい踏み」スライドトーク

日時：11月19日（金） 午後1時30分～（約30分） 担当：当館学芸員 参加者数：13名

日時：12月10日（金） 午後1時30分～（約30分） 担当：当館学芸員 参加者数：15名

Ⅲ-2 団体来館者への協力

申し込みのあった団体来館者、授業での使用に対し、展示品解説、施設説明などを随時行った。

授業 9件

その他 0件

IV 刊行物

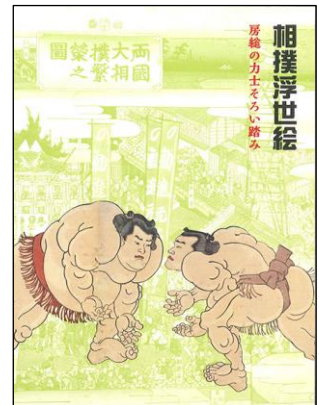
『相撲浮世絵 房総の力士そろい踏み』展図録

A4 変形 (29.7×22.5cm) / 44 ページ

[内容]

カラー図版 55 点 / 作品解説 / 「浮世絵に描かれた房総の力士たち」
収録力士の出身地 / 収録力士一覧 / 主要参考文献 / 出品目録 / List of Works

編集・発行：城西国際大学水田美術館（2021 年 11 月）



V 収集

V-1 新収蔵資料

2020年度

購入＝版画9件 寄贈＝日本画9件

作者名	作品名	技法・サイズ等	制作年	購入／寄贈
勝川春亭	鬼面山与一右エ門	大判錦絵 36.3×24.9cm 版元＝丸屋文右衛門	文化10年（1813）	購入
歌川国貞	稲川政之助・立神雲右エ門	大判錦絵3枚続 右38.2×25.4、中38.3×25.5、 38.2×25.6cm 版元＝山口屋藤兵衛	天保11～13年（1840～42）	購入
無款	夜無情浮世有様	大判錦絵2枚続 右36.1×24.6、左36.1×24.9cm 版元未詳	安政2年（1855）	購入
山本昇雲	子供遊び おもちやの勝負	大判錦絵 23.3×35.1cm 版元＝松木平吉	明治39年（1906）	購入
酒井亜人	貼交屏風（風景・風景・生れくる町・赤人塚）	紙本着色 2曲1隻 屏風149.0×175.2cm（右上図 28.8×32.9、右下図52.9× 56.9、左上図36.4×50.3、左下 図48×60.9cm）	昭和8年（1933）	寄贈
酒井亜人	貼交屏風	紙本着色 2曲1隻 屏風67.8×172.6cm（右図32.0 ×67.7、左図25.0×46.0cm）		寄贈
酒井亜人	竹に雀	紙本着色 額1面 31.7×127.2cm		寄贈
酒井亜人	風景	紙本着色 額1面 59.9×84.0cm		寄贈
酒井亜人	北多摩の山	紙本着色 額1面 63.0×83.0cm	昭和26年（1951）	寄贈
酒井亜人	高原	紙本着色 額1面 70.8×91.8cm	昭和36年（1961）	寄贈
酒井亜人	夜雀	絹本着色 1幅 128.3×40.9cm		寄贈
酒井亜人	鶴	絹本着色 1幅 30.1×41.7cm		寄贈
酒井亜人	松林と魚売り	絹本着色 1幅 48.6×55.2cm		寄贈
歌川国芳	鬼若力之助	大判錦絵 25.2×36.5cm 版元未詳	嘉永3年（1850）	購入
三代歌川豊国	白拍子桂木、難波村蜂衛門、幻長吉、浅倉当吾、女房お岑	大判錦絵3枚続 35.5×74.3cm 版元＝海老屋林之助	嘉永4年（1851）	購入
歌川国郷	両国大相撲繁栄図	大判錦絵3枚続 右37.6×25.2、中37.6×25.2、 37.8×25.2cm 版元＝大黒屋平吉	嘉永6年（1853）	購入
三代歌川豊国	君たち集り粧ひの図	大判錦絵3枚続 右37.0×25.5、中37.1×25.4、 左37.3×25.1cm 版元＝和泉屋市兵衛	安政4年（1857）	購入
楊洲周延	鬘付束髪図会	大判錦絵 36.0×24.2cm 版元＝林吉蔵	明治20年（1887）頃	購入

2021年度

購入＝版画9件、版本1件 寄贈＝写真4点

作者名	作品名	技法・サイズ等	制作年	購入／寄贈
楳田舎好文作・歌川国芳画	『与話情浮名横櫛』初～六編	中本、11冊、1帖 17.7×11.8cm 版元＝山本屋平吉	嘉永6年～安政2年 (1853～55)	購入
後岡喜信	外灘 上海	エプソンインクジェットプリン 60.0×60.0cm	平成21年 (2009)	寄贈
後岡喜信	旅順路 上海	エプソンインクジェットプリン 60.0×60.0cm	平成21年 (2009)	寄贈
後岡喜信	富美芳	エプソンインクジェットプリン 90.0×60.0cm	平成29年 (2017)	寄贈
後岡喜信	瑞峯院	エプソンインクジェットプリン 90.0×60.0cm	平成29年 (2017)	寄贈
歌川国芳	木曾街道六十九次之内板橋 犬塚信乃	大判錦絵 34.5×24.7cm 版元＝住吉屋政五郎	嘉永5年 (1852)	購入
山村耕花 (豊成)	四代目尾上松助の蝙蝠安	木版多色 41.0×29.3cm 版元＝渡辺庄三郎	大正6年 (1917)	購入
歌川芳藤	兎の勸進大相撲	大判錦絵3枚続 右35.1×24.8、中35.6×24.8、 左35.0×24.8cm 版元＝木村定五郎	明治6年 (1873)	購入
歌川国貞	荒馬大五郎	大判錦絵 38.6×26.0cm 版元＝森屋治(次)兵衛	文化12年～天保3年 (1815～1832)	購入
楊洲周延	小児の遊戯	大判錦絵3枚続 右37.7×25.2、中36.8×24.8、 左37.1×24.8cm 版元＝勝木吉勝	明治33年 (1900)	購入
武藤嘉亭	房州太海夕辺	木版多色 39.3×26.3cm 版元＝渡辺庄三郎	昭和29年 (1954)	購入
二代歌川国輝	勸進大相撲土俵入図	大判錦絵3枚続 右36.2×25.5、中37.0×25.5、 左36.8×25.5cm 版元＝大黒屋平吉	明治6年 (1873)	購入
歌川芳艶	はしかのまじなひ たら よの葉	大判錦絵 35.8×25.0cm 版元未詳	文久2年 (1862)	購入
三代歌川広重	大日本物産図絵 下総国 醤油製造之図 同西瓜畑 之図	大判錦絵 36.7×24.5cm 版元＝大倉孫兵衛	明治10年 (1877) 頃	購入

V-2 新収蔵図書

	購入	寄贈	合計
展覧会図録	8	46	54
その他	2	7	9
雑誌	0	34	34
合計	10	87	97

VI 城西国際大学水田美術館概要

VI-1 組織図

館長——学芸員

館長代行 佐野智子

学芸員 堀内瑞子
山口真理子



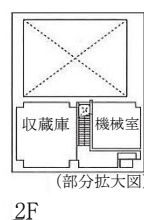
VI-2 施設

延床面積 277.2 m²

構造 鉄筋コンクリート造 地上2階

展示室面積 169.2 m²

収蔵庫面積 72.0 m²



VI-3 利用案内

開館日 展覧会開催期間の火曜日～土曜日。大学行事にあわせ随時開館。

開館時間 午前10時～午後4時

入館料 展覧会によって異なる。高校生以下無料。障がい者手帳を所持する方と付添者1名まで無料。本学学生・教職員無料。

交通 JR 外房線大網駅または JR 総武本線成東駅乗り換えて JR 東金線求名（ぐみょう）駅下車、徒歩5分。

車では、京葉道路・館山自動車道の千葉東ジャンクションより千葉東金道路に入り、東金インター下車、国道126号線を成東方面へ約20分、信号「城西国際大前」右折。

JR 東京駅、JR 横浜駅、JR 西船橋駅、JR 木更津駅、JR 千葉駅、JR 蘇我駅、JR 東金駅、JR 成東駅、京成成田駅よりシャトルバス運行。

城西国際大学水田美術館年報

第18号 2020・2021（令和2・3）年度

2022年（令和4年）3月12日発行

編集 城西国際大学水田美術館

〒283-8555 千葉県東金市求名1番地

電話 0475-53-2562

<https://www.jiu.ac.jp/museum/>